書籍名	更新日	ステータス
第 30 回(2018 年度)手話通訳技能認定試験(手話通訳士試験) 模範解答集	2024.10.10	正誤

正誤
以下のように訂正いたします。 ●p.90　国語　問２ ⑧ 君は また 同じ 間違いを 繰り返したね。(反復の確認) ⇒⑧ 君は また 同じ 間違いを 繰り返したね。(反復の確認) ●p.79　手話通訳のあり方　問 14 正解……３⇒正解……２ 解説 ２．通訳人として選任されることを希望する人に対しては、各地方裁判所で裁判官が面接を行う。面接の結果、通訳人としての適性を備えていると認められた人に対しては、刑事手続の概要や法律用語、通訳を行うに当たっての一般的な注意事項を説明し、これらの手続を経た人が通訳人候補者名簿に登載される。よって選択肢２は正しい。 ⇒・・・通訳人候補者名簿に登載される。**しかし、これは「認定制度」はなく、改善が求められている。**よって選

択肢２は**誤りである。**

３.「法廷通訳人」という肩書はない。名簿に登載されるということは「通訳人候補者」であり、「法廷通訳人」という身分を与えられたということではない。よって選択肢３は誤りである。
⇒裁判における通訳者は法廷通訳人と呼ばれ、事件ごとに選任される。なお「法廷通訳人」という肩書はない。名簿に登載されるということは「通訳人候補者」であり、「法廷通訳人」という身分を与えられたということではない。よって選択肢３は**正しい。**
以上のことから誤っているのは３である。⇒以上のことから誤っているのは２である。

【参考：水野真木子『コミュニティー通訳入門/ｐ99～105』大阪教育図書 2008 年】
⇒【参考：水野真木子・内藤稔『コミュニティ通訳/ｐ99～105』みすず書房 2015 年】

●ｐ.19　障害者福祉の基礎知識 問題 12 解説
問題の解説後　「正解は 4」である。⇒「正解は 1」である。

以上、お詫びして訂正いたします。